

こ だ ま

社会人にとって大切なことを学びました

さる、5/14(水)の総合的な学習の時間に、職場体験学習の一環として、社会人による講話を実施しました。今回は、(株)栃木信用金庫の森 麻由美さんにお忙しい中お願いしました。その中で、四つの働く意義と社会人として大切なことを二つ教えていただきました。

まず、最初に「身だしなみ」です。おしゃれは自分が基準となりますが、「**身だしなみ**」は、**相手の視点で判断される**というところが重要です。相手が、清潔感を感じ取ってくれて信頼感もうまれてくるということであり、重みのある言葉です。

続いて「あいさつ」のことでした。二つとも日頃から学校で取り組んでいます。「**学校生活の全てが、社会人に必要とされている力を育てている**」を理解したいものです。

さて、森さんも、皆さんのことをほめてくださいました。メモをとりながら真剣に話を聴いてくれたこと。たくさん質問してくれたこと。クイズに積極的に参加してくれたこと。お札を数えたときに拍手をいただいたことです。お互いにとって有意義な時間を過ごすことができました。森さんには、皆さんからのお礼状をお送りしました。26日からの職場体験もしっかりやりましょう。

働くことの大切さや、仕事をしていく上で、何が大切かが、よく分かりました。「身だしなみ」や「あいさつ」、「笑顔」や相手に対する「態度」、どれも大切なことだと改めて分かりました。

また、仕事をしている時だけでなく、普段の生活でもこのことは大切ではないかと思いました。普段からこのことができれば、社会に出たときでも、しっかりできると、私は思いました。

ですから、もう一度自分を見つめ直すとともに、職場体験でも生かしていけるように、普段の生活から心がけていきたいと思います。

2組 渡邊沙南さん